

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 29 年 3 月 30 日 (2017.3.30)

【公表番号】特表 2016-522106 (P2016-522106A)

【公表日】平成 28 年 7 月 28 日 (2016.7.28)

【年通号数】公開・登録公報 2016-045

【出願番号】特願 2016-516651 (P2016-516651)

【国際特許分類】

**B 3 2 B 27/18 (2006.01)**

**C 0 8 F 220/02 (2006.01)**

**C 0 9 D 133/00 (2006.01)**

【F I】

B 3 2 B 27/18 A

C 0 8 F 220/02

C 0 9 D 133/00

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 2 月 22 日 (2017.2.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材を光誘発劣化から保護する方法であって、  
有機ポリマー材料を含む基材を提供する工程と、  
交互積層自己集合によって付着される複数の層を前記基材上に配置する工程と、を含み

、  
前記層の少なくとも一部が、高分子電解質内に分散された有機光吸収性化合物、有機光安定化化合物、又はその組み合わせを含む、方法。

【請求項 2】

基材を光誘発劣化から保護する方法であって、  
基材を提供する工程と、

交互積層自己集合によって付着される、高分子電解質及び無機酸化物ナノ粒子の複数の交互層を前記基材上に配置する工程と、を含み、前記層の少なくとも一部が、前記高分子電解質内に分散された有機光吸収性化合物、有機光安定化化合物、又はその組み合わせを含む、方法。

【請求項 3】

前記高分子電解質が、前記有機光吸収性化合物、前記有機光安定化化合物、又はその組み合わせに共有結合されている、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記層の少なくとも一部が、イオン性モノマーと共重合性有機光吸収性化合物、共重合性有機光安定化化合物、又はそれらの組み合わせとの高分子電解質コポリマーを含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記共重合性有機光吸収性化合物又は前記共重合性有機光安定化化合物が、(メタ)アクリル基又はビニル基を含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記イオン性モノマーが、(メタ)アクリル基又はビニルエーテル基、及びイオン基を含む、請求項 4 又は 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記高分子電解質が、グラフトコポリマー又はランダムコポリマーである、請求項 4 ~ 6 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 8】

前記有機光吸収性化合物が、紫外光の透過率を低下させる、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

前記有機光安定化化合物又は有機紫外線吸収性化合物が、ヒンダードアミン、ベンゾトリアゾール、ベンゾフェノン、トリアジン、及びこれらの混合から選択される基を含む、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 10】

有機ポリマー材料を含む基材と、

前記基材上に配置された、交互積層自己集合によって付着された複数の層と、を含む物品であって、前記層の少なくとも一部が、高分子電解質内に分散された有機光吸収性化合物、有機光安定化化合物、又はその組み合わせを含む、物品。

【請求項 11】

基材と、

前記基材上に配置された、交互積層自己集合によって付着された、高分子電解質及び無機酸化物ナノ粒子の複数の交互層と、を含む物品であって、前記層の少なくとも一部が、前記高分子電解質内に分散された有機光吸収性化合物、有機光安定化化合物、又はその組み合わせを含む、物品。